

第1学年

令和2年度

シラバス

赤門鍼灸柔整専門学校

鍼灸指圧科

## 2020年 赤門鍼灸柔整専門学校 シラバス

<b>担当者名</b>	浦山 きか	<b>学科・年</b>	鍼灸指圧科 1年A・B組
<b>科目名</b>	中国語	<b>曜日・時間</b>	A組) 月曜日 10:50～ B組) 月曜日 9:10～

### 【授業概要・目標】

中国語の発音とピンインを身につけ、簡単な文法を理解する。その上で基礎的な医療用語と医療会話を中国語で言えるようにする。

＜前期＞	
回	授業テーマ
1	授業概要
2	母音(韻母)の発音
3	子音(声母)の発音
4	二文字以上の発音と種々のテクニカルターム
5	第一課の発音
6	第一課の文法、ドリル
7	第二課の発音
8	第二課の文法、ドリル
9	第二課までのまとめ
10	第三課の発音
11	第三課の文法、ドリル
12	第四課の発音
13	第四課の文法、ドリル
14	発音試験
◆	前期試験 (試験監督は教職員・専任教員)
15	評価点検

＜後期＞	
回	授業テーマ
1	前期授業の復習
2	第五課の発音
3	第五課の文法、ドリル
4	第六課の発音
5	第六課の文法、ドリル
6	第七課の発音
7	第七課の文法、ドリル
8	各課会話のまとめ
9	応用会話 その1
10	応用会話 その2
11	短文読解 その1
12	短文読解 その2
13	短文読解 その3
14	発音試験
◆	後期試験 (試験監督は教職員・専任教員)
15	評価点検

<b>評価方法</b>	ペーパーテスト6割、発音4割。
<b>授業の進め方</b>	原則として教科書にそって進む。プリントで補うことがある。
<b>注意 (学生に望むこと)</b>	十分な予習復習をして授業にのぞむこと。
<b>テキスト・参考書</b>	『協同学習で学ぶ医療系中国語会話』(白帝社、2018年)

## 2020年 赤門鍼灸柔整専門学校 シラバス

<b>担当者名</b>	高橋 はるか (実務経験のある教員)	<b>学科・年</b>	鍼灸指圧科 1年A組
<b>科目名</b>	鍼灸基礎実技	<b>曜日・時間</b>	月曜日 9:10～

<b>【授業概要・目標】</b>	
(1) 施術上の基礎知識を理解する。 (2) 安全かつ正確に鍼灸を扱えるようになる。 (3) 鍼は、消毒を含めた一連の操作が適切に行える。直刺ができる。片手挿管10回/分を目標とする。 (4) 灸は、米粒大・半米粒大が正確に作れるようになり、透熱灸で8回/分を目標とする。	

＜前期＞	
回	授業テーマ
1	オリエンテーション
2	基礎知識1 鍼の基本実技
3	基礎知識2 灸の基本実技
4	小テスト1 鍼の基本実技
5	基礎知識3 灸の基本実技
6	基礎知識4 鍼の基本実技
7	基礎知識5 灸の基本実技
8	小テスト2 鍼の基本実技
9	基礎知識6 灸の基本実技
10	基礎知識7 鍼の基本実技
11	基礎知識8 灸の基本実技
12	筆記試験、前期復習
13	鍼前期試験
14	灸前期試験
15	評価点検

＜後期＞	
回	授業テーマ
1	前期の復習他
2	基礎知識9 鍼灸の基礎実技
3	基礎知識10 鍼灸の基礎実技
4	基礎知識11 鍼灸の基礎実技
5	基礎知識12 鍼灸の基礎実技
6	小テスト3 鍼灸の基礎実技
7	基礎知識13 鍼灸の基礎実技
8	基礎知識14 鍼灸の基礎実技
9	基礎知識15 鍼灸の基礎実技
10	鍼灸の基礎実技
11	鍼灸の基礎実技
12	筆記試験、事前試験
13	鍼後期試験
14	灸後期試験
15	評価点検

<b>評価方法</b>	実技試験＋筆記試験＋実技課題で評価
<b>授業の進め方</b>	(1) 講義20分と実技70分の配分で授業をすすめる (2) 次週の予習課題、実技課題を出す
<b>注意 (学生に望むこと)</b>	(1) 実技は授業時間だけではうまくなりません。日々の練習が必須。 (2) 白衣はきちんと着用し、清潔な環境づくりに努めること。
<b>テキスト・参考書</b>	テキスト:『はりきゆう理論』『はりきゆう実技<基礎編>』(東洋療法学校協会編)

## 2020年 赤門鍼灸柔整専門学校 シラバス

<b>担当者名</b>	伊東 太郎 (実務経験のある教員)	<b>学科・年</b>	鍼灸指圧科 1年B組
<b>科目名</b>	鍼灸基礎実技	<b>曜日・時間</b>	月曜日 10:50～

<b>【授業概要・目標】</b> (1) 施術上必要な基礎知識を理解し、実践できるようになる。 (2) 安全な鍼灸の基本実技ができるようになる。
--

＜前期＞	
回	授業テーマ
1	オリエンテーション
2	講義: 注意事項 実技: 鍼の基本実技(1)
3	講義: 消毒法 実技: 灸の基本実技(1)
4	講義: 基礎知識 実技: 鍼の基本実技(2)
5	講義: 基礎知識 実技: 灸の基本実技(2)
6	鍼の基本実技(3)
7	灸の基本実技(3)
8	鍼の基本実技(4)
9	灸の基本実技(4)
10	前期中間実技試験
11	鍼の基本実技(5)
12	灸の基本実技(5)
13	前期実技試験 (はり試験)
14	前期実技試験 (きゅう試験)
15	評価点検

＜後期＞	
回	授業テーマ
1	前期実技試験の復習
2	鍼の基本実技(7)
3	灸の基本実技(7)
4	鍼の基本実技(8)
5	灸の基本実技(8)
6	鍼の基本実技(9)
7	灸の基本実技(9)
8	鍼の基本実技(10)
9	灸の基本実技(10)
10	後期中間試験
11	鍼の基本実技(11)
12	灸の基本実技(11)
13	後期実技試験 (はり試験)
14	後期実技試験 (きゅう試験)
15	評価点検

<b>評価方法</b>	実技試験(70%) + 小テスト(10%) + 課題(10%) + 中間実技試験(10%) で評価
<b>授業の進め方</b>	(1) 講義30分(小テスト含む)と実技60分のペースで授業をしていく予定です。 (2) 毎回、実技課題と小テストを行います。
<b>注意 (学生に望むこと)</b>	(1) 毎日、コツコツ練習をしてください。 (2) 態度・言葉遣い・白衣汚れ・身なりに気を付け、授業後は掃除をすること。
<b>テキスト・参考書</b>	テキスト: 『はりきゅう実技<基礎編>』(東洋療法学校協会編)

## 2020年 赤門鍼灸柔整専門学校 シラバス

<b>担当者名</b>	高橋 武彦	<b>学科・年</b>	鍼灸指圧科 1年
<b>科目名</b>	生理学 I	<b>曜日・時間</b>	月曜日 13:10～

**【授業概要・目標】**

人体の生理機能について学習し、その意義と調節機構を理解する。

＜前期＞	
回	授業テーマ
1	第1章:生理学の基礎
2	第1章:生理学の基礎
3	第1章:生理学の基礎
4	第2章:循環
5	第2章:循環
6	第2章:循環
7	第2章:循環
8	第2章:循環
9	第2章:循環
10	第3章:呼吸
11	第3章:呼吸
12	第3章:呼吸
13	第5章:体温
14	第5章:体温
◆	前期試験 (試験監督は教職員・専任教員)
15	評価点検

＜後期＞	
回	授業テーマ
1	第4章:消化と吸収
2	第4章:消化と吸収
3	第4章:消化と吸収
4	第4章:消化と吸収
5	第4章:消化と吸収
6	第6章:代謝
7	第6章:代謝
8	第6章:代謝
9	第7章:体温
10	第7章:体温
11	第7章:体温
12	第8章:内分泌
13	第8章:内分泌
14	第8章:内分泌
◆	後期試験 (試験監督は教職員・専任教員)
15	評価点検

<b>評価方法</b>	出席、定期試験結果、課題、小テスト等の総合評価
<b>授業の進め方</b>	教科書を中心に授業を進める。
<b>注意 (学生に望むこと)</b>	予習・復習を行い、授業外でも理解を深めるよう努力して下さい。
<b>テキスト・参考書</b>	教科書

## 2020年 赤門鍼灸柔整専門学校 シラバス

<b>担当者名</b>	川嶋 睦子	<b>学科・年</b>	鍼灸指圧科 1年
<b>科目名</b>	経絡経穴概論 I	<b>曜日・時間</b>	火曜日 9:10～

<b>【授業概要・目標】</b> 各経絡の流注および、経穴の由来、取穴部位、その経穴の作用について学習する。
---

＜前期＞	
回	授業テーマ
1	経絡経穴の基礎, 骨度法
2	背部(督脈, 膀胱経1行) 経穴名と取穴位置
3	背部(膀胱経2行, 仙骨) 経穴名と取穴位置
4	背部の取穴
5	肩部, 頸部の経穴名と取穴位置
6	上腹部の経穴名と取穴位置
7	下腹部の経穴名と取穴位置
8	胸部の経穴名と取穴位置
9	前腕の経穴名と取穴位置
10	鍼灸の処方と配穴・要穴の概要
11	前期1次試験
12	下腿の経穴名と取穴位置
13	手部の経穴名と取穴位置
14	足部の経穴名と取穴位置
◆	前期試験 (試験監督は教職員・専任教員)
15	評価点検

＜後期＞	
回	授業テーマ
1	頭部の経穴名と取穴位置
2	側頭部の経穴名と取穴位置
3	上腕部の経穴名と取穴位置
4	大腿部の経穴名と取穴位置
5	手太陰肺経・手陽明大腸経流注
6	足陽明胃経・足太陰脾経流注
7	手少陰心経・手太陽小腸経流注
8	足太陽膀胱経, 足少陰腎経流注
9	手厥陰心包経・手少陽三焦経流注
10	足少陽胆経・足厥陰肝経流注
11	後期1次試験
12	奇経八脈
13	手足の取穴
14	手足の取穴
◆	後期試験 (試験監督は教職員・専任教員)
15	評価点検

<b>評価方法</b>	小テスト(80点以上):20点, 第1次試験(40点), 本試験(前期, 後期試験:40点)
<b>授業の進め方</b>	履修内容順に講義を進行する。 ただし学生の能力に応じて変更有り。
<b>注意 (学生に望むこと)</b>	毎回小テストを行う。
<b>テキスト・参考書</b>	教科書, 十四経発揮, 配付資料

## 2020年 赤門鍼灸柔整専門学校 シラバス

<b>担当者名</b>	煙山 貴之	<b>学科・年</b>	鍼灸指圧科 1年
<b>科目名</b>	衛生学・公衆衛生学	<b>曜日・時間</b>	火曜日 10:50～

### 【授業概要・目標】

人間の生存に影響を及ぼすさまざまな関連要因をふまえ、健康の保持・増進について学ぶ。

＜前期＞	
回	授業テーマ
1	オリエンテーション
2	衛生学・公衆衛生学の意義
3	健康の概要
4	健康管理、健康増進
5	医療制度と医療保障
6	食品の意義と食生活
7	食品と疾病
8	食中毒-1
9	食中毒-2
10	環境
11	環境要因-1
12	環境要因-2
13	環境問題-1
14	環境問題-2
◆	前期試験 (試験監督は教職員・専任教員)
15	評価点検

＜後期＞	
回	授業テーマ
1	産業保健
2	精神保健
3	保健統計-1
4	保健統計-2
5	母子保健
6	成人・高齢者保健
7	生活習慣病
8	感染症-1
9	感染症-2
10	感染症-3
11	消毒法-1
12	消毒法-2
13	消毒法-3
14	疫学
◆	後期試験 (試験監督は教職員・専任教員)
15	評価点検

<b>評価方法</b>	筆記試験
<b>授業の進め方</b>	講義形式であるが、対話的に行う。
<b>注意 (学生に望むこと)</b>	統計などは毎年新しくなることに注意する。
<b>テキスト・参考書</b>	衛生学・公衆衛生学

## 2020年 赤門鍼灸柔整専門学校 シラバス

<b>担当者名</b>	糟谷 俊彦	<b>学科・年</b>	鍼灸指圧科 1年A組
<b>科目名</b>	按摩マッサージ指圧基礎実技Ⅱ	<b>曜日・時間</b>	火曜日 13:10～

<b>【授業概要・目標】</b>	
マッサージの基本的な手技、手技に伴う理論を知る。 マッサージの基本的な手技ができるようにする。	

＜前期＞	
回	授業テーマ
1	マッサージの意義、基本手技・基本手技、打法
2	マッサージの歴史、あまの相違点・基本手技、打法
3	軽擦法、生理的作用、留意点・基本手技、打法
4	強擦法、生理的作用、留意点・基本手技、打法
5	揉捏法、生理的作用、留意点・手部
6	叩打法、生理的作用、留意点・前腕部
7	振せん法、生理的作用、留意点・上腕部
8	圧迫法、生理的作用、留意点・上肢全体
9	運動法、生理的作用、留意点・足部、下腿部
10	大腿部
11	臀部、下肢
12	下肢全体
13	全体復習
14	実技試験
15	評価、点検

＜後期＞	
回	授業テーマ
1	手部、前腕部、上腕部
2	上肢、下肢の復習
3	僧帽筋群
4	棘下筋群、脊柱起立筋群
5	背腰部全体
6	頸部、頭部
7	頸部、頭部、胸部
8	胸部、腹部
9	背部、腹部
10	前腕部、上腕部
11	足部、下腿部、大腿部、殿部
12	背部、腹部
13	全体復習
14	実技試験
15	評価、点検

<b>評価方法</b>	実技試験(70%)、筆記試験(30%)、合計で65点以上合格
<b>授業の進め方</b>	実技を主にし、実技に対する座学を含める
<b>注意 (学生に望むこと)</b>	マッサージの基本手技を理解し、覚えるようにし、手技に伴う理論を知るようにする。
<b>テキスト・参考書</b>	あん摩マッサージ指圧実技(基礎編)



## 2020年 赤門鍼灸柔整専門学校 シラバス

<b>担当者名</b>	高橋 務	<b>学科・年</b>	鍼灸指圧科 1年B組
<b>科目名</b>	按摩マッサージ指圧基礎実技Ⅱ	<b>曜日・時間</b>	火曜日 13:10～

<b>【授業概要・目標】</b> マッサージの基本手技、各部位施術の基本を習得する。また、手技に伴う理論を理解する。
---

＜前期＞	
回	授業テーマ
1	オリエンテーション 施術時の注意点
2	マッサージの意義と沿革・アマ指の相違点、基本手技・打法
3	軽擦法(按撫法)・揉捏法について 留意点・種類・作用
4	強擦法(按捏法)・圧迫法について 留意点・種類・作用
5	振せん法・叩打法について 留意点・種類・作用
6	運動法と矯正法について 留意点・種類・作用
7	上肢部への施術①
8	上肢部への施術②
9	下肢部への施術①
10	下肢部への施術②
11	背腰部の施術①
12	筆記試験／前期復習
13	実技試験
14	実技試験
15	評価点検

＜後期＞	
回	授業テーマ
1	前期復習
2	背腰部の施術②
3	頭頸部の施術
4	胸部の施術
5	腹部の施術
6	関節マッサージと運動法①
7	関節マッサージと運動法②
8	問診～主訴部位中心に全身
9	問診～主訴部位中心に全身
10	問診～主訴部位中心に全身
11	問診～主訴部位中心に全身
12	筆記試験／後期復習
13	実技試験
14	実技試験
15	評価点検

<b>評価方法</b>	出席(授業態度含む)・実技試験・筆記試験などの総合評価
<b>授業の進め方</b>	マッサージの実技をしながら、これに伴う理論を理解できるようにする。
<b>注意 (学生に望むこと)</b>	授業で積極的に取り組むのはもちろんのこと、授業外でも練習をすること。
<b>テキスト・参考書</b>	「あん摩マッサージ指圧実技＜基礎編＞」(医道の日本社)

## 2020年 赤門鍼灸柔整専門学校 シラバス

<b>担当者名</b>	三保 翔平	<b>学科・年</b>	鍼灸指圧科 1年A組
<b>科目名</b>	按摩マッサージ指圧基礎実技 I	<b>曜日・時間</b>	火曜日 14:50～

### 【授業概要・目標】

臨床に必要な知識、基本手技の習得を目指す。

＜前期＞	
回	授業テーマ
1	あん摩の意義、実技:手拳叩打法
2	あん摩の意義、沿革 実技 叩打法全般
3	実技 叩打法全般、曲手法
4	軽擦法の種類、留意点 軽擦法の実技
5	揉捏法の種類、留意点 揉捏法の実技
6	圧迫法、振せん法、運動法の留意点 肩背の施術
7	軽擦法の生理作用 肩背の施術
8	揉捏法、圧迫法の生理作用 肩背の施術
9	その他の生理作用 腰部の施術
10	肩背部、腰部の施術
11	肩背部、腰部の施術
12	上肢の施術
13	上肢の施術
14	実技試験
15	評価点検

＜後期＞	
回	授業テーマ
1	前期の総復習(叩打法、曲手)
2	肩背部、上肢、腰部の実技
3	五作用について 下肢の施術実技
4	五作用について 下肢の施術実技
5	あん摩と東洋医学 下肢の施術実技
6	古法あん摩 現在までの実技復習
7	禁忌症について 頸部の実技
8	施術上の注意 頸部の実技
9	頭部の実技
10	頸部、頭部の実技
11	頸部、頭部の実技
12	前期、後期の実技の復習
13	前期、後期の実技の復習
14	実技試験
15	評価点検

<b>評価方法</b>	授業の実技の取り組む姿勢、定期試験。
<b>授業の進め方</b>	理論と実技を組み合わせる。毎回、叩打法・曲手の練習を取り入れる。
<b>注意 (学生に望むこと)</b>	授業時間外の練習。
<b>テキスト・参考書</b>	『あん摩マッサージ指圧実技<基礎編>』『あん摩マッサージ指圧理論』

## 2020年 赤門鍼灸柔整専門学校 シラバス

<b>担当者名</b>	糟谷 俊彦	<b>学科・年</b>	鍼灸指圧科 1年B組
<b>科目名</b>	按摩マッサージ指圧基礎実技Ⅲ	<b>曜日・時間</b>	火曜日 14:50～

<b>【授業概要・目標】</b> 指圧の基本的な手技、手技に伴う理論を知る。 基本的な全身指圧ができるようにする。
---

＜前期＞	
回	授業テーマ
1	指圧の意義、基本手技、押圧操作、 圧法、背部手掌圧法
2	運動操作、諸注意、撫擦法、脊椎触 診、手掌圧、母指圧
3	肩甲間線、肩甲骨、骨盤、臀部
4	背部、臀部、下肢部
5	背部、臀部、後頭部、後頸部
6	背部、臀部、前頭部、顔面部、前頸 部
7	背部、臀部、上肢部
8	背部、臀部、仰臥位・下肢部
9	背部、臀部、胸部、腹部
10	背部、臀部、側臥位、坐位
11	背部、臀部、下肢部、後頭部、後頸 部
12	背部、臀部、前頭部、顔面部、前頸 部、上肢部
13	全体復習
14	実技試験
15	評価、点検

＜後期＞	
回	授業テーマ
1	背部、臀部、下肢部
2	背部、臀部、後頭部、後頸部
3	背部、臀部、前頭部、顔面部、前頸 部
4	背部、臀部、上肢部
5	背部、臀部、仰臥位・下肢部
6	背部、臀部、胸部、腹部
7	背部、臀部、側臥位、坐位
8	背部、臀部、下肢部、後頭部、後頸 部
9	背部、臀部、前頭部、顔面部、前頸 部、上肢部
10	背部、臀部、仰臥位・下肢部、胸部、 腹部
11	背部、臀部、全体
12	背部、臀部、全体
13	全体復習
14	実技試験
15	評価、点検

<b>評価方法</b>	実技試験(70%)、筆記試験(30%)、合計で65点以上合格
<b>授業の進め方</b>	主に繰り返し、実技の練習をする。実技に対する座学を含める。
<b>注意 (学生に望むこと)</b>	指圧の基本手技を理解し、覚えるようにし、手技に伴う理論を知るようにする。
<b>テキスト・参考書</b>	プリント、あん摩マッサージ指圧実技(基礎編)

## 2020年 赤門鍼灸柔整専門学校 シラバス

<b>担当者名</b>	神成 有己	<b>学科・年</b>	鍼灸指圧科 1年
<b>科目名</b>	東洋医学概論Ⅱ	<b>曜日・時間</b>	前期) 水曜日 10:50~ 後期) 水曜日 9:10~

<b>【授業概要・目標】</b>	
東洋医学とは何か、そしてその歴史を知ってもらい、東洋医学について興味関心を持ってもらう。 また取穴位置をしっかりと覚えてもらい、実技に役立ててもらおう。	

＜前期＞	
回	授業テーマ
1	ガイダンス、東洋医学とは
2	東洋の医学①
3	東洋の医学②
4	東洋の医学③
5	東洋の医学④
6	中間テスト(予定)
7	中国医学史①
8	中国医学史②
9	中国医学史③
10	中国医学史④
11	中国医学史⑤、日本医学史序
12	日本医学史②
13	日本医学史③
14	前期の復習
◆	前期試験 (試験監督は教職員・専任教員)
15	評価点検

＜後期＞	
回	授業テーマ
1	後期ガイダンス,日本医学史④
2	日本医学史⑤
3	日本医学史⑥
4	日本医学史⑦
5	日本医学史⑧
6	中間テスト(予定)
7	テスト解説,古典医学文献序
8	古典医学文献①
9	古典医学文献②
10	古典医学文献③
11	古典医学文献④
12	古典医学文献⑤
13	古典医学文献⑥
14	古典医学文献の復習
◆	後期試験 (試験監督は教職員・専任教員)
15	評価点検

<b>評価方法</b>	中間+期末/2したものを点数とするが、授業態度、出席点も考慮する。
<b>授業の進め方</b>	基本はプリントを配布。パワーポイント及び板書にて進める。
<b>注意 (学生に望むこと)</b>	体調管理は常に行い、休んだ場合はきちんとクラスメイトに確認を取ること。
<b>テキスト・参考書</b>	適宜授業内で紹介する。

## 2020年 赤門鍼灸柔整専門学校 シラバス

<b>担当者名</b>	笹野 泰之	<b>学科・年</b>	鍼灸指圧科 1年
<b>科目名</b>	解剖学Ⅱ(後期)	<b>曜日・時間</b>	後期) 水曜日 10:50～

**【授業概要・目標】**  
 神経系および感覚器系の解剖学について講義する。教科書の該当箇所に記載されている内容を理解し、知識として定着させることを目指す。

＜前期＞	
回	授業テーマ
1	
2	
3	
4	
5	
6	
7	
8	
9	
10	
11	
12	
13	
14	
◆	
15	

＜後期＞	
回	授業テーマ
1	神経系総論・脊髄
2	延髄・橋・中脳
3	小脳・間脳・大脳(1)
4	大脳(2)・脳室系等
5	脊髄神経総論
6	頸神経叢・腕神経叢
7	肋間神経・腰神経叢
8	仙骨神経叢(1)
9	仙骨神経叢(2)・脳神経総論
10	脳神経各論(1)
11	脳神経各論(2)
12	脳神経各論(3)・自律神経系
13	伝導路・感覚器系
14	神経系と感覚器系のまとめ
◆	後期試験 (試験監督は教職員・専任教員)
15	試験自己評価点検授業

<b>評価方法</b>	出席と試験の成績による。
<b>授業の進め方</b>	教科書の内容に沿って進める。
<b>注意 (学生に望むこと)</b>	十分に復習すること。
<b>テキスト・参考書</b>	解剖学 第2版、社団法人 東洋療法学校協会編、医歯薬出版

# 2020年 赤門鍼灸柔整専門学校 シラバス

<b>担当者名</b>	国分 壮一	<b>学科・年</b>	鍼灸指圧科 1年
<b>科目名</b>	解剖学Ⅱ(前期)	<b>曜日・時間</b>	前期) 水曜日 13:10～

**【授業概要・目標】**  
 人体の構造と機能について理解できる。

＜前期＞	
回	授業テーマ
1	運動器系の総論(筋を中心に)Ⅰ
2	運動器系の総論(筋を中心に)Ⅱ
3	体幹の筋Ⅰ
4	体幹の筋Ⅱ
5	体幹の運動
6	上肢の筋Ⅰ
7	上肢の筋Ⅱ
8	上肢の運動
9	体幹の脈管と神経
10	下肢の筋Ⅰ
11	下肢の筋Ⅱ
12	下肢の運動
13	頭頸部の筋Ⅰ
14	頭頸部の筋Ⅱ
◆	前期試験 (試験監督は教職員・専任教員)
15	評価点検

＜後期＞	
回	授業テーマ
1	
2	
3	
4	
5	
6	
7	
8	
9	
10	
11	
12	
13	
14	
◆	
15	

<b>評価方法</b>	出席・定期試験・ミニテストにより評価する。
<b>授業の進め方</b>	授業前に配布するプリントとプレゼンテーションにより行う。
<b>注意 (学生に望むこと)</b>	予習は必要ないが、授業中に理解できるように集中して聞いてほしい。 また復習が望ましい。
<b>テキスト・参考書</b>	指定された教科書を用いる。

## 2020年 赤門鍼灸柔整専門学校 シラバス

<b>担当者名</b>	長岡 靖彦	<b>学科・年</b>	鍼灸指圧科 1年
<b>科目名</b>	医療概論(半期)	<b>曜日・時間</b>	前期) 水曜日 14:50～

**【授業概要・目標】**  
 西洋の医学史を踏まえ、現代医療・社会保障・医療倫理の現状を学び、その諸問題について検討できるようになる。

＜前期＞	
回	授業テーマ
1	古代の医学
2	アレキサンドリアとローマの医学
3	中世・ルネサンスの医学
4	17世紀の医学
5	18世紀の医学
6	19世紀以降の医学(1)
7	19世紀以降の医学(2)
8	現代の医療と社会(1)
9	現代の医療と社会(2)
10	社会保障制度(1)
11	社会保障制度(2)
12	医療倫理(1)
13	医療倫理(2)
14	医療倫理(3)
◆	前期試験 (試験監督は教職員・専任教員)
15	評価点検

＜後期＞	
回	授業テーマ
1	
2	
3	
4	
5	
6	
7	
8	
9	
10	
11	
12	
13	
14	
◆	
15	

<b>評価方法</b>	定期試験の結果をもってその学期の評価とする。
<b>授業の進め方</b>	テキストを基本にプレゼンテーションで補足説明する講義形式で行う。
<b>注意 (学生に望むこと)</b>	医療に関わるニュースにアンテナを張っていて欲しい。
<b>テキスト・参考書</b>	『医療概論』(公社)東洋療法学校協会編

## 2020年 赤門鍼灸柔整専門学校 シラバス

<b>担当者名</b>	金田一 孝二	<b>学科・年</b>	鍼灸指圧科 1年
<b>科目名</b>	解剖学 I	<b>曜日・時間</b>	木曜日 9:10～

<b>【授業概要・目標】</b> 正常な人体の形態と構造を理解する。特に、細胞と組織、内臓系について学習する。
--

＜前期＞	
回	授業テーマ
1	人体の構成:解剖学の意義・分類・用語
2	細胞の形態と内部構造
3	細胞分裂: 細胞周期・染色体・減数分裂
4	遺伝子: 核酸・遺伝情報・情報の伝達
5	上皮組織1:概説
6	上皮組織2:細胞間結合装置・内・外分泌腺
7	結合組織1:概説
8	結合組織2:軟骨・骨組織
9	血液とリンパ
10	筋組織総論
11	神経組織総論
12	皮膚:概説・構造・神経・血管
13	毛・爪・皮膚腺・脂腺・乳腺
14	人体の区分と方向
◆	前期試験 (試験監督は教職員・専任教員)
15	評価点検

＜後期＞	
回	授業テーマ
1	循環器系概説・血管の構造・動脈・静脈
2	心臓、刺激伝導系、心臓の血管
3	動脈系・静脈系・門脈系・胎児循環
4	リンパ系
5	呼吸器系 鼻腔・咽頭・喉頭・気管・気管支・肺
6	消化器系1 口唇・口腔・舌
7	消化器系2 歯・唾液腺
8	消化器系3 咽頭・食道・胃
9	消化器系4 小腸・大腸・肛門
10	消化器系5 肝臓・膵臓・胆嚢
11	泌尿器系 腎臓・尿管・膀胱・尿道
12	生殖器系1 男性生殖器
13	生殖器系2 女性生殖器
14	内分泌系
◆	後期試験 (試験監督は教職員・専任教員)
15	評価点検

<b>評価方法</b>	筆記試験、出席状況、授業態度、小試験、課題提出の総合評価とする。
<b>授業の進め方</b>	教科書中心の講義ではあるが、教科書に記載のない事項まで言及する。
<b>注意 (学生に望むこと)</b>	高校程度の生物学の知識は必要である。解剖学は決して暗記科目ではなく、理解することが大事である。予習復習を確実にし、授業に参加すること。課題の提出期限は厳守すること。
<b>テキスト・参考書</b>	解剖学 改訂第2版(医歯薬出版)、その他、随時紹介する。



## 2020年 赤門鍼灸柔整専門学校 シラバス

<b>担当者名</b>	古川 雄一郎	<b>学科・年</b>	鍼灸指圧科 1年
<b>科目名</b>	生理学Ⅱ	<b>曜日・時間</b>	木曜日 10:50～

**【授業概要・目標】**

生命現象がどのように行われるか内分泌、神経、免疫によって説明することが出来るようになる

＜前期＞	
回	授業テーマ
1	生理学概論
2	神経Ⅰ
3	神経Ⅱ
4	神経Ⅲ
5	神経Ⅳ
6	神経Ⅴ
7	内臓の自律神経性調節Ⅰ
8	内臓の自律神経性調節Ⅱ
9	内臓の自律神経性調節Ⅲ
10	内臓の自律神経性調節Ⅳ
11	内臓の自律神経性調節Ⅴ
12	内分泌Ⅰ
13	内分泌Ⅱ
14	内分泌Ⅲ
◆	前期試験 (試験監督は教職員・専任教員)
15	評価点検

＜後期＞	
回	授業テーマ
1	生殖
2	成長と老化
3	筋Ⅰ
4	筋Ⅱ
5	運動Ⅰ
6	運動Ⅱ
7	運動Ⅲ
8	感覚Ⅰ
9	感覚Ⅱ
10	感覚Ⅲ
11	生体の防御機構Ⅰ
12	生体の防御機構Ⅱ
13	身体活動の協調
14	まとめ
◆	後期試験 (試験監督は教職員・専任教員)
15	評価点検

<b>評価方法</b>	前期:筆記試験による、後期:筆記試験による その他:出席状況、授業態度なども考慮する
<b>授業の進め方</b>	教科書に基づいてプリントで進めるが、学習状況により内容が前後したり、変更したりすることがある
<b>注意 (学生に望むこと)</b>	暗記よりも理解することを意識して勉強してほしい
<b>テキスト・参考書</b>	生理学第3版 東洋療法学校協会編

## 2020年 赤門鍼灸柔整専門学校 シラバス

<b>担当者名</b>	高橋 務	<b>学科・年</b>	鍼灸指圧科 1年
<b>科目名</b>	解剖学Ⅲ	<b>曜日・時間</b>	木曜日 13:10～

<b>【授業概要・目標】</b> 解剖学用語を覚えると同時に、人体各部の位置や役割を理解する。
--

＜前期＞	
回	授業テーマ
1	オリエンテーション 運動器系(総論)①
2	運動器系(総論)② 全身の骨格について
3	Ⅱ-1. 脊柱①
4	Ⅱ-1. 脊柱②
5	Ⅱ-1. 脊柱③
6	Ⅱ-2. 胸郭①
7	Ⅱ-2. 胸郭②
8	Ⅱ-3. 上肢の骨格①
9	Ⅱ-3. 上肢の骨格②
10	Ⅱ-3. 上肢の骨格③
11	Ⅱ-3. 上肢の骨格④
12	Ⅱ-3. 上肢の骨格⑤
13	Ⅱ-4. 下肢の骨格①
14	Ⅱ-4. 下肢の骨格②
◆	前期試験 (試験監督は教職員・専任教員)
15	前期評価点検

＜後期＞	
回	授業テーマ
1	Ⅱ-4. 下肢の骨格③
2	Ⅱ-4. 下肢の骨格④
3	Ⅱ-4. 下肢の骨格⑤
4	Ⅱ-4. 下肢の骨格⑥
5	Ⅱ-5. 頭蓋骨①
6	Ⅱ-5. 頭蓋骨②
7	Ⅱ-5. 頭蓋骨③
8	Ⅱ-5. 頭蓋骨④
9	Ⅱ-5. 頭蓋骨⑤
10	Ⅱ-5. 頭蓋骨⑥
11	局所解剖①
12	局所解剖②
13	復習(不足分を含む)
14	復習(不足分を含む)
◆	後期試験 (試験監督は教職員・専任教員)
15	後期評価点検

<b>評価方法</b>	筆記試験、小テスト、出席(授業態度も含む)などの総合評価
<b>授業の進め方</b>	教科書とプリントを中心に授業を行い、小テストで理解を深める様に進める。
<b>注意 (学生に望むこと)</b>	教科書・図だけではなく、人体で理解できるようにする。
<b>テキスト・参考書</b>	「解剖学 第2版」(医歯薬出版株式会社)

## 2020年 赤門鍼灸柔整専門学校 シラバス

<b>担当者名</b>	高橋 はるか	<b>学科・年</b>	鍼灸指圧科 1年A組
<b>科目名</b>	按摩マッサージ指圧基礎実技Ⅲ	<b>曜日・時間</b>	木曜日 14:50～

### 【授業概要・目標】

指圧の基本手技を実技・理論共に理解し、実践できる。  
全身各部位を指圧できる。

＜前期＞	
回	授業テーマ
1	指圧の意義、基本手技、押圧操作、 圧法、背部手掌圧法
2	運動操作、諸注意、撫擦法、脊椎触 診、手掌圧、母指圧
3	肩甲間線、肩甲骨、骨盤、臀部
4	背部、臀部、下肢部
5	背部、臀部、後頭部、後頸部
6	背部、臀部、前頭部、顔面部、前頸 部
7	背部、臀部、上肢部
8	背部、臀部、仰臥位・下肢部
9	背部、臀部、胸部、腹部
10	背部、臀部、側臥位、坐位
11	背部、臀部、下肢部、後頭部、後頸 部
12	背部、臀部、前頭部、顔面部、前頸 部、上肢部
13	全体復習
14	実技試験
15	評価、点検

＜後期＞	
回	授業テーマ
1	背部、臀部、下肢部
2	背部、臀部、後頭部、後頸部
3	背部、臀部、前頭部、顔面部、前頸 部
4	背部、臀部、上肢部
5	背部、臀部、仰臥位・下肢部
6	背部、臀部、胸部、腹部
7	背部、臀部、側臥位、坐位
8	背部、臀部、下肢部、後頭部、後頸 部
9	背部、臀部、前頭部、顔面部、前頸 部、上肢部
10	背部、臀部、仰臥位・下肢部、胸部、 腹部
11	背部、臀部、全体
12	背部、臀部、全体
13	全体復習
14	実技試験
15	評価、点検

<b>評価方法</b>	実技試験、筆記試験
<b>授業の進め方</b>	学生自身が反復して行うことが重要なので、学生主体で進めていく。
<b>注意 (学生に望むこと)</b>	(1)実技は授業時間だけではうまくなりません。日々の練習が必須。 (2)白衣はきちんと着用し、清潔な環境づくりに努めること。
<b>テキスト・参考書</b>	プリント、あん摩マッサージ指圧実技(基礎編)

## 2020年 赤門鍼灸柔整専門学校 シラバス

<b>担当者名</b>	柏倉 利一	<b>学科・年</b>	鍼灸指圧科 1年B組
<b>科目名</b>	按摩マッサージ指圧基礎実技 I	<b>曜日・時間</b>	木曜日 14:50～

**【授業概要・目標】**

臨床に必要な知識、基本手技の習得を目指す。

＜前期＞	
回	授業テーマ
1	あん摩の意義 実技 手拳叩打法
2	あん摩の意義、沿革 実技 叩打、合掌、
3	実技 叩打、合掌、切打 曲手法
4	軽擦法の種類、留意点 軽擦法の実技
5	揉捏法の種類、留意点 揉捏法の実技
6	手技の留意点 肩背の施術
7	軽擦法の生理作用 軽擦法の実技
8	揉捏法、圧迫法の生理作用 軽擦法の実技
9	その他の生理作用 腰部の実技
10	肩背部、腰部の実技
11	肩背部、腰部の実技
12	上肢の施術実技
13	上肢の施術実技
14	実技試験
15	評価点検

＜後期＞	
回	授業テーマ
1	前期の総復習(打法、曲手)
2	肩背部、上肢、腰部の実技
3	五作用について 下肢の施術実技
4	あん摩の治療効果 下肢の施術実技
5	五作用について 下肢の施術実技
6	古法あん摩 現在までの実技復習
7	禁忌症について 頸部の実技
8	頸部の実技
9	頸部の実技 施術上の注意
10	頭部の実技
11	頸部、頭部の実技
12	前期、後期の実技の復習
13	前期、後期の実技の復習
14	実技試験
15	評価点検

<b>評価方法</b>	授業の実技の取り組む姿勢・課題目標明確にする
<b>授業の進め方</b>	授業は理論と実技を組み合わせる
<b>注意 (学生に望むこと)</b>	課外練習を望みます
<b>テキスト・参考書</b>	『あん摩マッサージ指圧実技<基礎編>』『あん摩マッサージ指圧理論』、 プリント中心に進める。

## 2020年 赤門鍼灸柔整専門学校 シラバス

<b>担当者名</b>	高橋 はるか (実務経験のある教員)	<b>学科・年</b>	鍼灸指圧科 1年
<b>科目名</b>	東洋医学概論 I	<b>曜日・時間</b>	金曜日 9:10～

<b>【授業概要・目標】</b>	
前期の授業では、東洋医学の特徴、陰陽学説、五行学説、生体物質について学ぶ。	
後期の授業では、各臓象の生理・病理を中心に学ぶ。	
1年間を通じて、治療の基礎となる東洋医学の考え方を身につける。	

＜前期＞	
回	授業テーマ
1	オリエンテーション、はじめに(p1-2)
2	人体の見方、東洋医学的治療(p13-28)
3	日本の東洋医学の現状(p29-36)
4	陰陽学説(p181-187)
5	五行学説(p188-200)
6	五行学説(p188-200)
7	陰陽学説・五行学説 中間試験
8	生体物質<精の生理・病理>(p37-42)
9	生体物質<気の生理>(p42-46)
10	生体物質<気の病理>(p46-50)
11	生体物質<血の生理・病理>(p50-53)
12	生体物質<津液の生理・病理>(p54-58)
13	生体物質の相互関係(p58-62)
14	前期まとめ
◆	前期試験 (試験監督は教職員・専任教員)
15	評価点検

＜後期＞	
回	授業テーマ
1	神の概念・生理・病理(p62-68)
2	陰陽の生理・病理(p68-73)
3	臓象学説、肝の生理と病理(p74-81)
4	胆の生理と病理(p84) 肝と関係のある奇恒の腑(p85-87)
5	心の生理と病理(p87-90)
6	小腸の生理と病理(p94) 心と関係のある奇恒の腑(p95-97)
7	脾の生理と病理(p97-100)
8	胃の生理と病理(p103)
9	肺の生理と病理(p106-110)
10	大腸の生理と病理(p113)
11	腎の生理と病理(p115-120)
12	膀胱の生理と病理(p123) 腎と関係のある奇恒の腑(p124-125)
13	三焦(p125-127)
14	前期・後期まとめ
◆	後期試験 (試験監督は教職員・専任教員)
15	評価点検

<b>評価方法</b>	定期試験の結果を元に行う。(前期は中間試験も含む)
<b>授業の進め方</b>	教科書を元に授業を進め、適宜板書、プリント配布を行う。 また、一部課題を出して理解を深める。
<b>注意 (学生に望むこと)</b>	聞き慣れない言葉や概念が多く出てくるので、教科書を何度も読み込むことをしてほしい。
<b>テキスト・参考書</b>	『新版 東洋医学概論』 医道の日本社

# 2020年 赤門鍼灸柔整専門学校 シラバス

<b>担当者名</b>	大槻 健蔵	<b>学科・年</b>	鍼灸指圧科 1年
<b>科目名</b>	自然科学概論(半期)	<b>曜日・時間</b>	前期) 金曜日 10:50~

<b>【授業概要・目標】</b>	
(1)日本は、自然災害大国である。近年、地球温暖化が進み異常気象により、巨大台風や豪雨による大災害が多発している。被災時における身の安全と被災地住民への支援活動への協力が極めて重要である。 (2)生命体の「細胞」を構成する様々な器官の生理機能と役割を理解する。 (3)生命体ゲノム(DNA)上の遺伝情報(遺伝子)とタンパク質(機能性因子)との関係と役割を正確に理解する。 (4)病原微生物(主に細菌とウイルス)によるヒト感染症の発症の仕組みを理解する。 (5)生活環境物質(タバコ、食品添加物、農薬や化粧品など)に含む有害成分の発がん作用を正確に理解する。 (6)「健康」に極めて重要な「免疫(生体防御)の仕組み」を理解する。	

＜前期＞	
回	授業テーマ
1	序論-1. 「自然科学概論」とはどんなことを学ぶ教科か？ 地球温暖化の要因、異常気象による自然災害の多発と蚊の生態系の変化
2	2. 我が国の自然災害(地震、台風や豪雨水害など)の発災時における身の安全確保と被災地住民への支援協力の重要性
3	3. 世界の環境汚染(大気汚染、PM2.5汚染やプラスチックゴミの海洋汚染)による健康問題と安全な飲料水の確保
4	各論-1. 生命の誕生と多様な生物種への進化および生命活動(細胞増殖、代謝と遺伝子発現)の仕組み
5	2. 生命活動に重要な機能性因子(タンパク質)の種類と生理機能
6	3. 自然界とヒト体内に生存する多様な微生物の特徴と生理的な役割
7	4. 食中毒を起こす細菌の特徴、食材と感染ルートおよび感染予防
8	5. 性感染症の起因微生物の特徴、感染拡大の仕組みおよび感染予防
9	6. 人が最も発症する風邪とインフルエンザウイルスの特徴と感染予防
10	7. タバコに含まれる多様な有害物質の人体への有害作用と発がん作用
11	8. 多種多彩な食品添加物、農薬や化粧品の安全性と発がん作用
12	9. 彩色野菜に多く含むフィトケミカル(ポリフェノール)の物性と抗酸化作用
13	10. 病原微生物による感染症とがん発症を防御している免疫の仕組み
14	11. 薬剤の様々な薬理作用と副作用および正しい使い方 12. 全授業内容の「まとめ」の資料配布(本教科の試験勉強に活用)
◆	前期試験(試験監督は教職員・専任教員)
15	13. 試験結果の評価と課題、および国際社会を混乱させた新型コロナウイルスの大流行と予防についての解説

<b>評価方法</b>	筆記試験の成績、積極的な質問および出席日数により総合的に評価する。
<b>授業の進め方</b>	配布資料を用いてPower pointで行う。毎回、質問の時間を設けます。
<b>注意 (学生に望むこと)</b>	授業中にどんなことでも遠慮なく質問して下さい。本分野における興味ある課題や社会的な話題を早めに要望して下さい。皆さんの要望を授業で解説したく思っております。
<b>テキスト・参考書</b>	1)教科書は使用せず、項目ごとに授業資料を配布して行う。 2)参考書:「やさしい基礎生物学」南雲 保編集 羊土社(2017年3月、第4刷発行) 3)「がん細胞の誕生」黒木登志夫著 朝日選書 4)「遺伝子が語る生命像」本庶 佑著 Blue Backs、 5)「ウイルス感染症がわかる本」田口文章著 成美堂出版(2005) 6)「腸内細菌の役割」藤田紘一郎著(腸内細菌に関する著書多数あり) 7)「これならわかる免疫学」安保 徹著 ナツメ社(2010)

## 2020年 赤門鍼灸柔整専門学校 シラバス

<b>担当者名</b>	三保 翔平 (実務経験のある教員)	<b>学科・年</b>	鍼灸指圧科 1年
<b>科目名</b>	経絡経穴概論Ⅱ(半期)	<b>曜日・時間</b>	後期) 金曜日 10:50～

**【授業概要・目標】**

要穴を覚え、理解を深める。

＜前期＞	
回	授業テーマ
1	
2	
3	
4	
5	
6	
7	
8	
9	
10	
11	
12	
13	
14	
15	

＜後期＞	
回	授業テーマ
1	五兪穴・五行穴
2	五要穴
3	八会穴
4	四総穴・下合穴
5	八総穴
6	胸腹部の経穴
7	上背腰殿部の経穴
8	骨度法
9	基準経穴
10	復習(五兪穴・五行穴・五要穴)
11	復習(八会穴・四総穴)
12	復習(八総穴・下合穴)
13	復習(胸腹部の経穴)
14	復習(上背腰殿部の経穴)
15	評価点検

<b>評価方法</b>	定期試験の点数
<b>授業の進め方</b>	板書、パワーポイントの活用
<b>注意 (学生に望むこと)</b>	板書の記録
<b>テキスト・参考書</b>	経絡経穴概論

2020年 赤門鍼灸柔整専門学校 シラバス

担当者名	専任教員	学科・年	鍼灸指圧科1年
科目名	臨床実習	曜日・時間	水金・3・4時限

【授業概要・目標】

①患者への接遇ができる。②基本的な施術準備ができる。

<前期>		<後期>	
回	授業テーマ	回	授業テーマ
1	臨床実習前授業（Ⅰ）	1	臨床実習（15）
2	臨床実習前授業（Ⅱ）	2	臨床実習（16）
3	臨床実習（1）	3	臨床実習（17）
4	臨床実習（2）	4	臨床実習（18）
5	臨床実習（3）	5	臨床実習（19）
6	臨床実習（4）	6	臨床実習（20）
7	臨床実習（5）	7	臨床実習（21）
8	臨床実習（6）	8	臨床実習（22）・振り返り
9	臨床実習（7）	9	
10	臨床実習（8）	10	
11	臨床実習（9）	11	
12	臨床実習（10）	12	
13	臨床実習（11）	13	
14	臨床実習（12）	14	
◆	臨床実習（13）	◆	
15	臨床実習（14）	15	

評価の方法	知識の習得・身だしなみ・参加意欲などを総合的に評価する。
授業の進め方	臨床に必要な知識の習得、施術見学、環境整備、施術準備（補助）などを中心に行う。
注意（学生に望むこと）	積極的に実習に参加してもらいたい。
使用テキスト・参考書	なし



実務経験のある教員等による授業科目の一覧表（鍼灸指圧科）

科目名	学年	授業時間数	教員名	実務経験	実務内容
東洋医学概論Ⅰ	1年次	60	高橋はるか	5年以上	鍼灸あん摩マッサージ指圧院を開業し、現在も付属鍼灸院で鍼灸の臨床を行なっている。
経絡経穴概論Ⅱ	1年次	30	三保翔平	10年以上	鍼灸あん摩マッサージ指圧院を開業し、現在も付属鍼灸院で鍼灸の臨床を行なっている。
鍼灸基礎実技	1年次	60	高橋はるか	5年以上	鍼灸あん摩マッサージ指圧院を開業し、現在も付属鍼灸院で鍼灸の臨床を行なっている。
			伊東太郎	5年以上	鍼灸院を開業した経験をもち、現在も付属鍼灸院で鍼灸の臨床を行なっている。
東洋療法診断法Ⅰ	2年次	60	三保翔平	10年以上	鍼灸あん摩マッサージ指圧院を開業し、現在も付属鍼灸院で鍼灸の臨床を行なっている。
鍼灸応用実技Ⅱ	2年次	60	古川雄一郎	5年以上	鍼灸院での勤務経験をもち、現在も付属鍼灸院で鍼灸の臨床を行なっている。
			伊東太郎	5年以上	鍼灸院を開業した経験をもち、現在も付属鍼灸院で鍼灸の臨床を行なっている。
按摩マッサージ指圧理論	3年次	60	三保翔平	10年以上	鍼灸あん摩マッサージ指圧院を開業し、現在も付属鍼灸院で鍼灸の臨床を行なっている。
鍼灸臨床実技Ⅱ	3年次	60	安齋昌弘	40年以上	鍼灸あん摩マッサージ指圧院を開業し、現在も付属鍼灸院で鍼灸の臨床を行なっている。
			伊東太郎	5年以上	鍼灸院を開業した経験をもち、現在も付属鍼灸院で鍼灸の臨床を行なっている。
	合計時間数	390			